



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

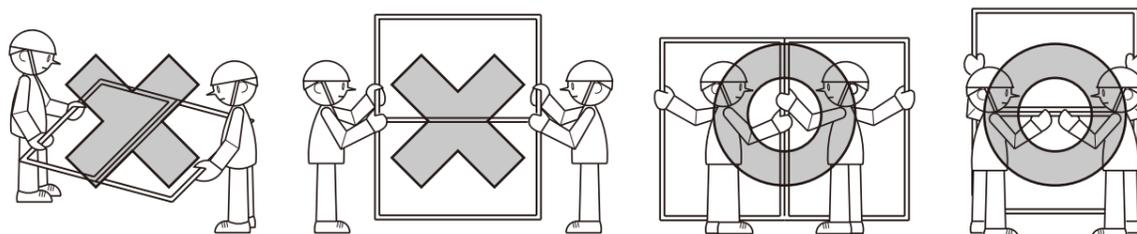
- ・指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
- ・段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て上のおお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
- 段窓組立て後の取付けは、「段窓無目取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立て後の取扱いとお願い

- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、立てたまま連窓無目部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



■段窓無目の種類

段窓無目		
シンフォニー用	デュオ用	
		(補強タイプ)

■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

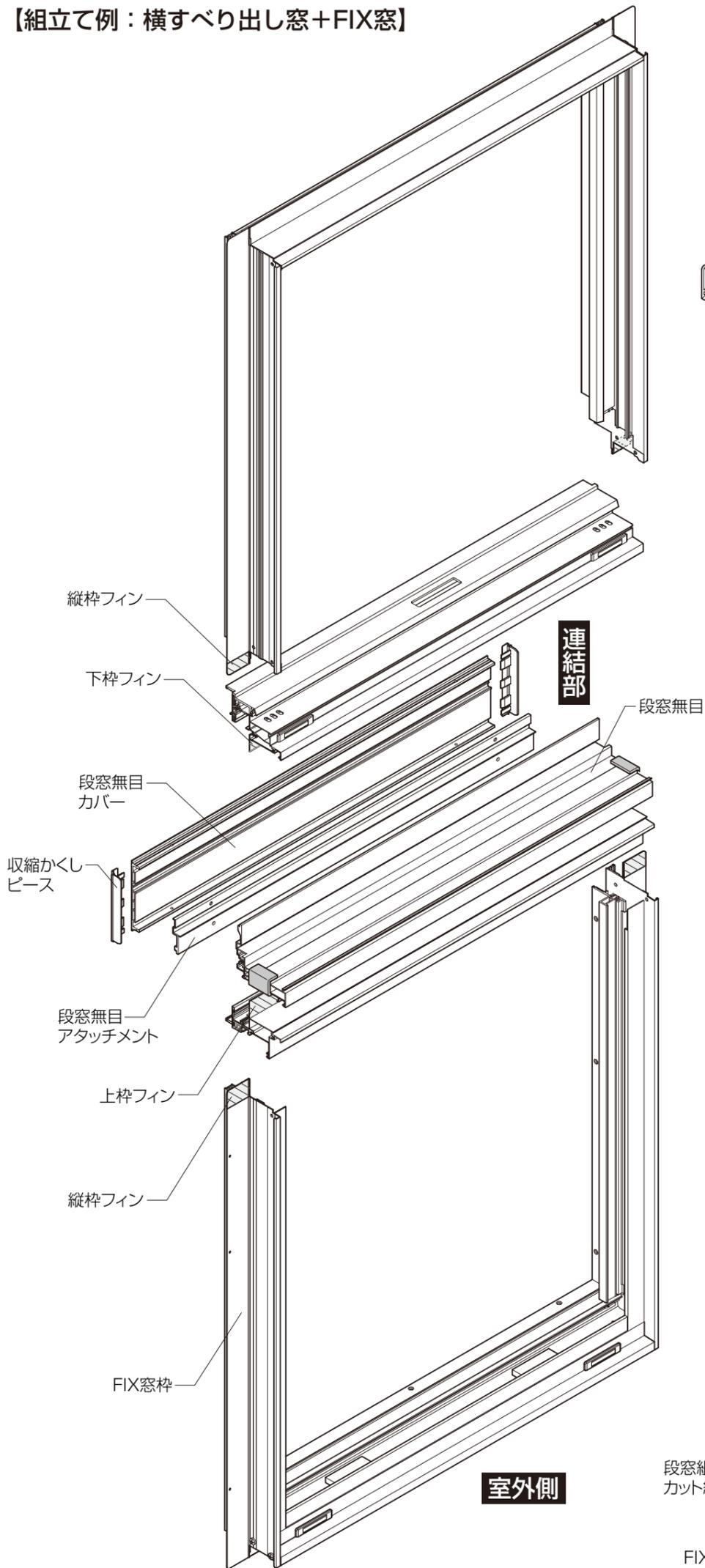
①	単体サッシ本体に同梱	⑧	引違いサッシに同梱		⑨		⑩	
	②		③	シンフォニー用	デュオ用			
皿タッピン ねじφ4×12	バインドタッピン ねじφ4×30	バインド小ねじ M4×10：シンフォニー M4×8：デュオ	皿テクス小ねじ	ナベテクス小ねじ	段窓無目外側カバー		収縮かくしピース (補強タイプ用)	

■組立て順序

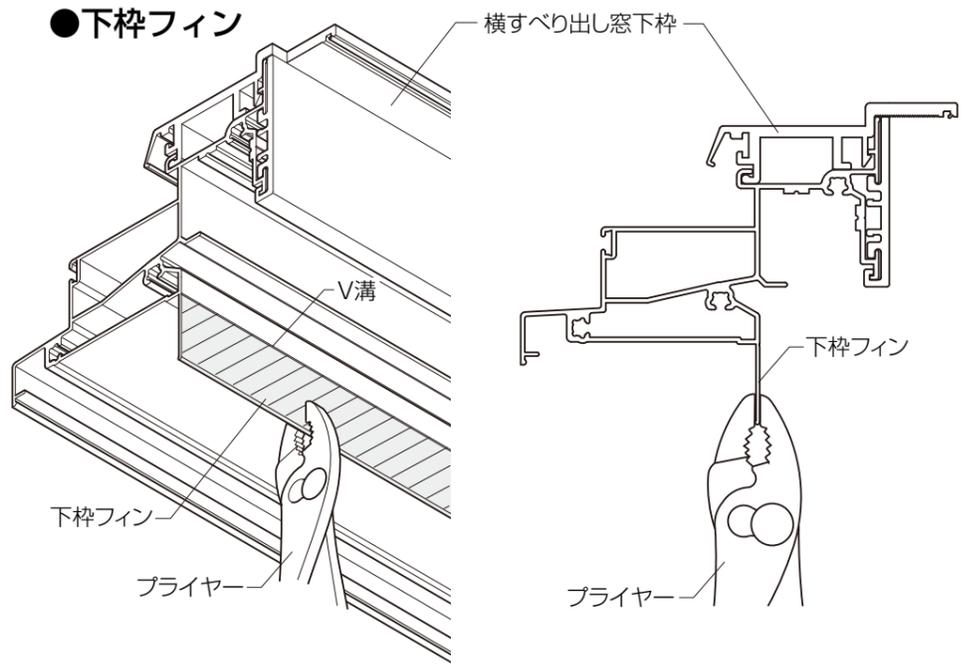
Ⅰ縦枠・上下枠フィンのカット

- ①連結部の縦枠・上下枠フィンのV溝にカッターで1~2回スジをつけます。
- ②プライヤーで、部を折曲げながら取除きます。
- ③コーキングシーラーのを切取ります。

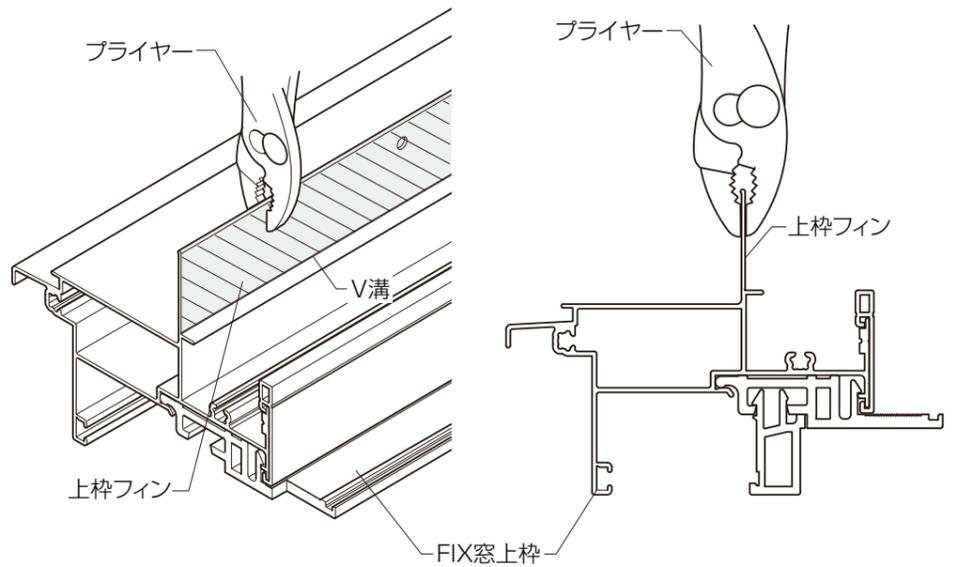
【組立て例：横すべり出し窓+FIX窓】



●下枠フィン

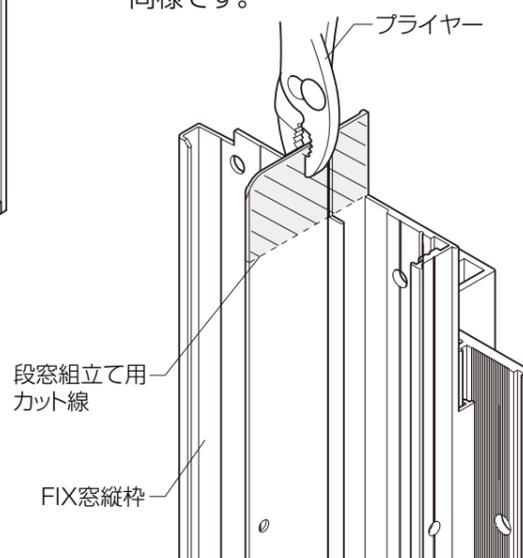


●上枠フィン

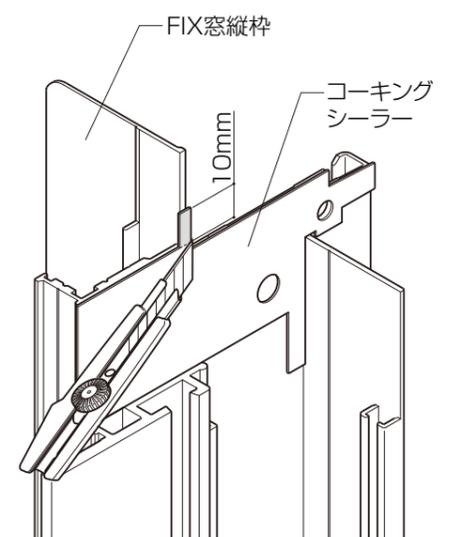


●縦枠フィン

※横すべり出し窓縦枠下部も同様です。



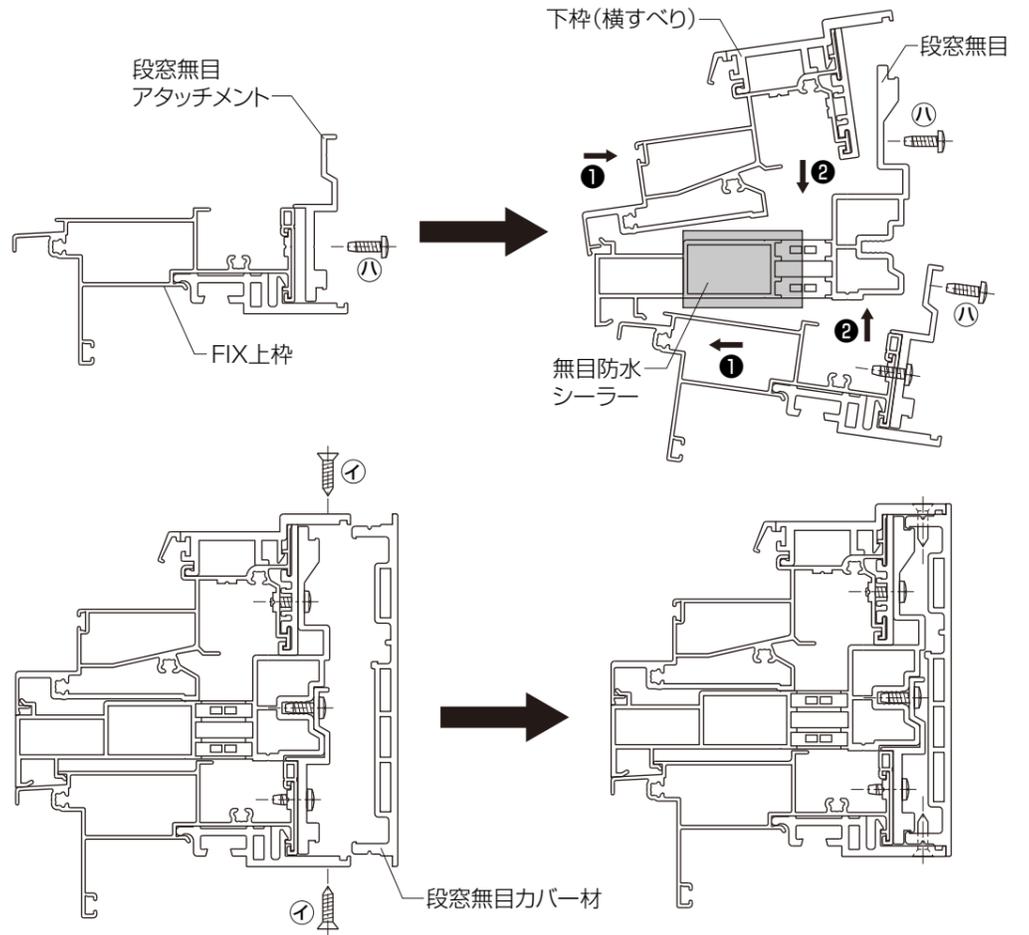
●コーキングシーラー



2 段窓無目との連結

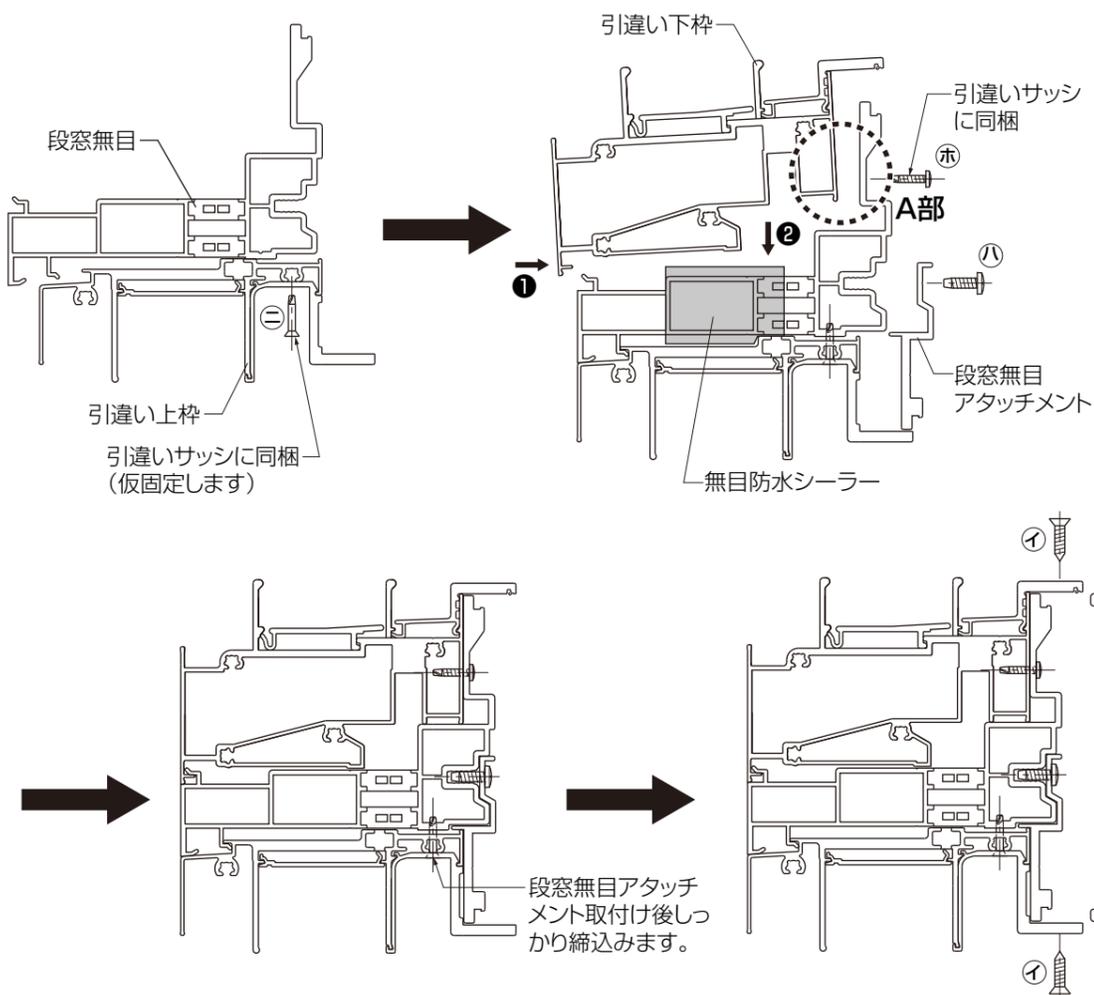
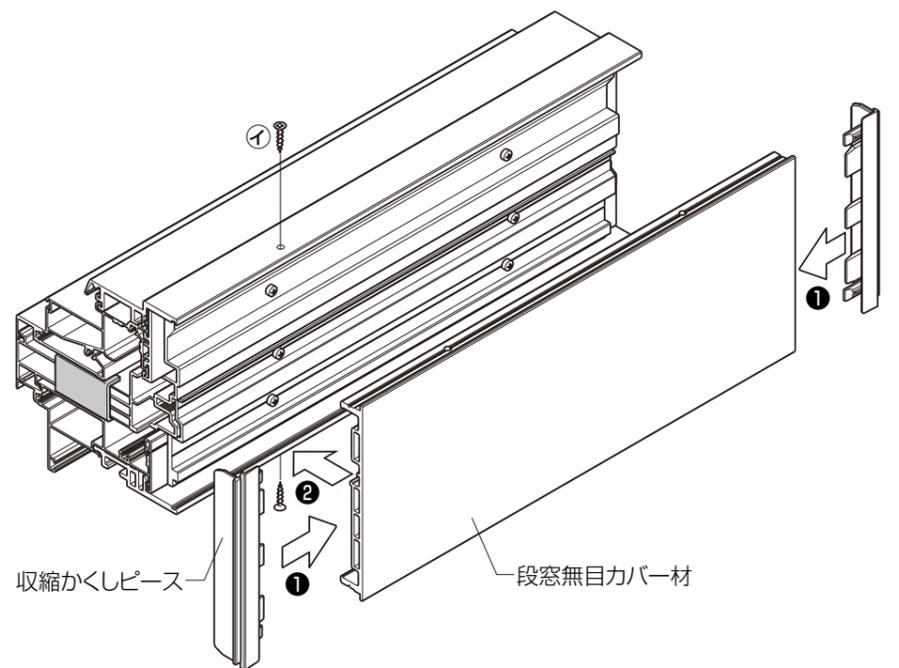
< 装飾窓 / 装飾窓の場合 >

- ① 段窓無目アタッチメントを、FIX上枠にねじ止めします。
 - ② 段窓無目と上下枠を一体に組合せ、端部を面一に合わせ右端の穴から段窓無目の穴をすべてねじ止めします。
- ※ 段窓無目と上下枠を組合せる際に、無目防水シーラーがめくれな
いように上下から落とし込んで組合せてください。
- ③ 段窓無目カバー材に、収縮かくしピースを両端に差込みます。
 - ④ カバー材の右端の穴とFIX、横すべり出し枠の、右端の穴を合わせ
てカバー材をはめ込みます。
 - ⑤ FIX窓枠、横すべり出し枠の穴をすべてねじ止めします。



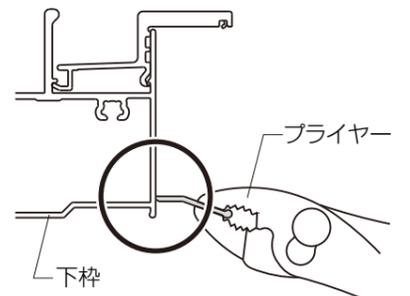
< 引違い / 引違いの場合 >

- ① 段窓無目と引違い上枠の両端を合わせ、引違いサッシに同梱されている皿テ
クスねじで仮固定します。その際、室外側の面ズレがないようにして組立てます。
※ ねじを締めすぎると段窓無目アタッチメントが入りずらくなることがあります。
 - ② 上枠側に段窓無目アタッチメントをねじ止めします。(段窓無目より、片側2mm
程度、補強タイプは片側1mm程度、短くなっています。)
- ※ 段窓無目アタッチメントが上枠と段窓無目の間に入らない場合は、上枠を固定
したねじ(⊖のねじ)を一度緩めてください。
- ③ 上枠を仮固定していたねじ(⊖のねじ)を締め込み、段窓無目と上枠を固定します。
 - ④ 段窓無目と引違い下枠を、引違いサッシに同梱されているナベテクスねじで固
定します。
- ※ 段窓無目と上下枠を組合せる際に、無目防水シーラーがめくれな
いように上下から落とし込んで組合せてください。
- ⑤ 段窓無目カバー材に収縮かくしピースを両端に差込みます。
 - ⑥ カバー材の右端の穴と上下枠の右端の穴を合わせてカバー材をはめ込みます。
 - ⑦ 上下枠の穴をすべてねじ止めします。



■ A部詳細図

- 図のように下枠にリブがある場合は、縦
枠・上下枠フィンと同様、V溝にカッターで
1~2回スジをつけ、プライヤーで取除
きます。

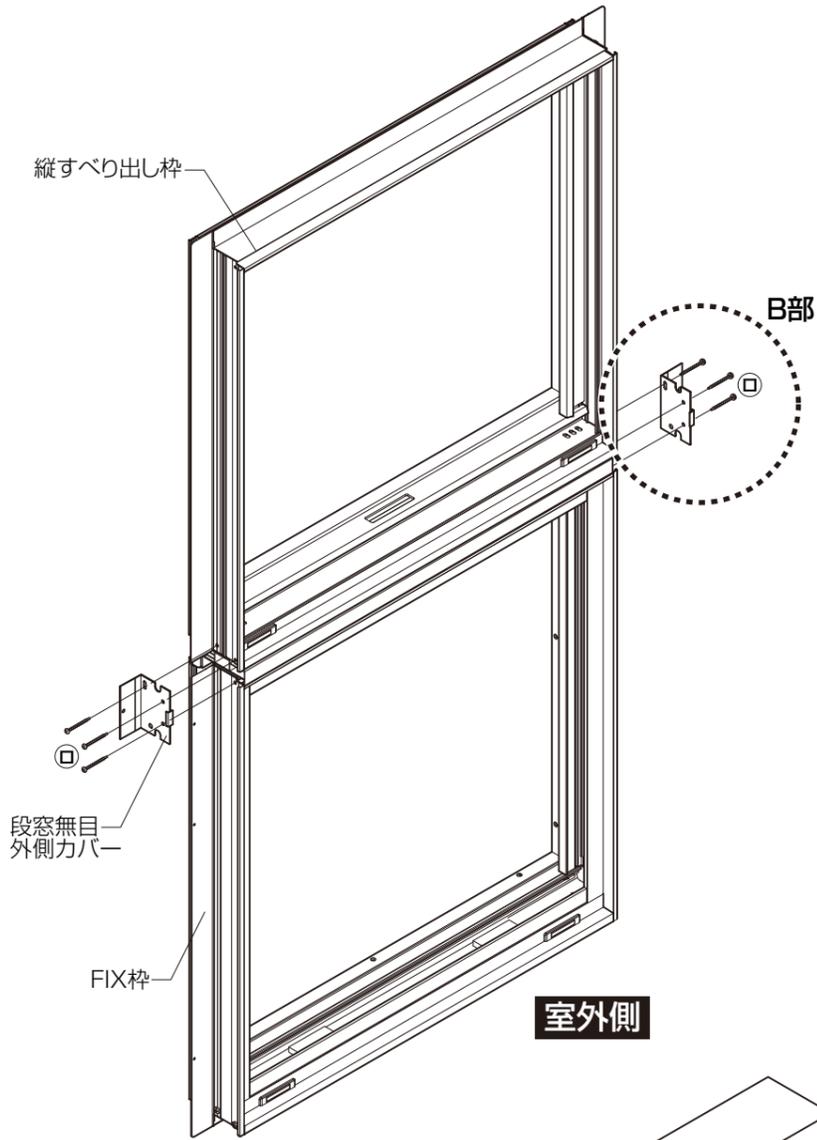


3 枠の組立て・シーリング

- ①上下の窓枠をそれぞれ組立て、段窓無目と組合わせませす。
- ②段窓無目と縦枠の継ぎ目(●部)にコーキング材(別途)を充てんします。
- ③段窓無目外側カバーを取付け、指定の位置(●部)にコーキング材(別途)を充てんします。
- ④フィンの裏面より防水補助シーンを張付けます。

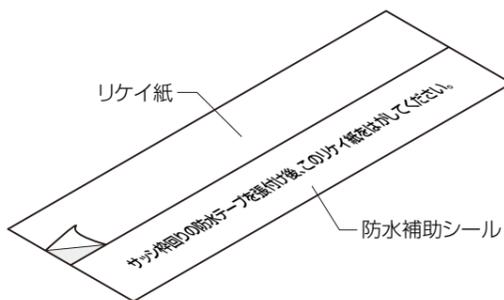
コーキング材について

シリコン系コーキング材は使用しないでください。
 ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。



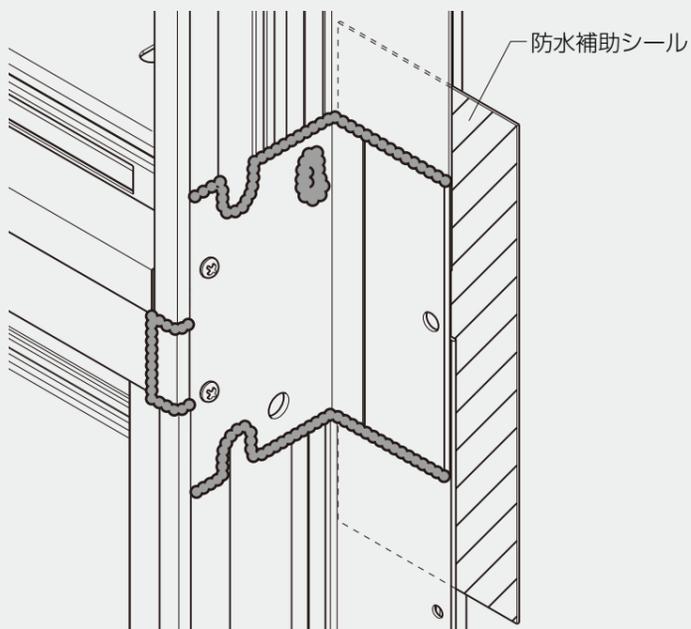
■防水補助シーンの張付け

- 片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。
- ※必ず文字の書いていない方をはがしてください。



▲注意

- 段窓無目外側カバー材取付け後、指定個所に防水補助シーン(同梱)を張付けてください。

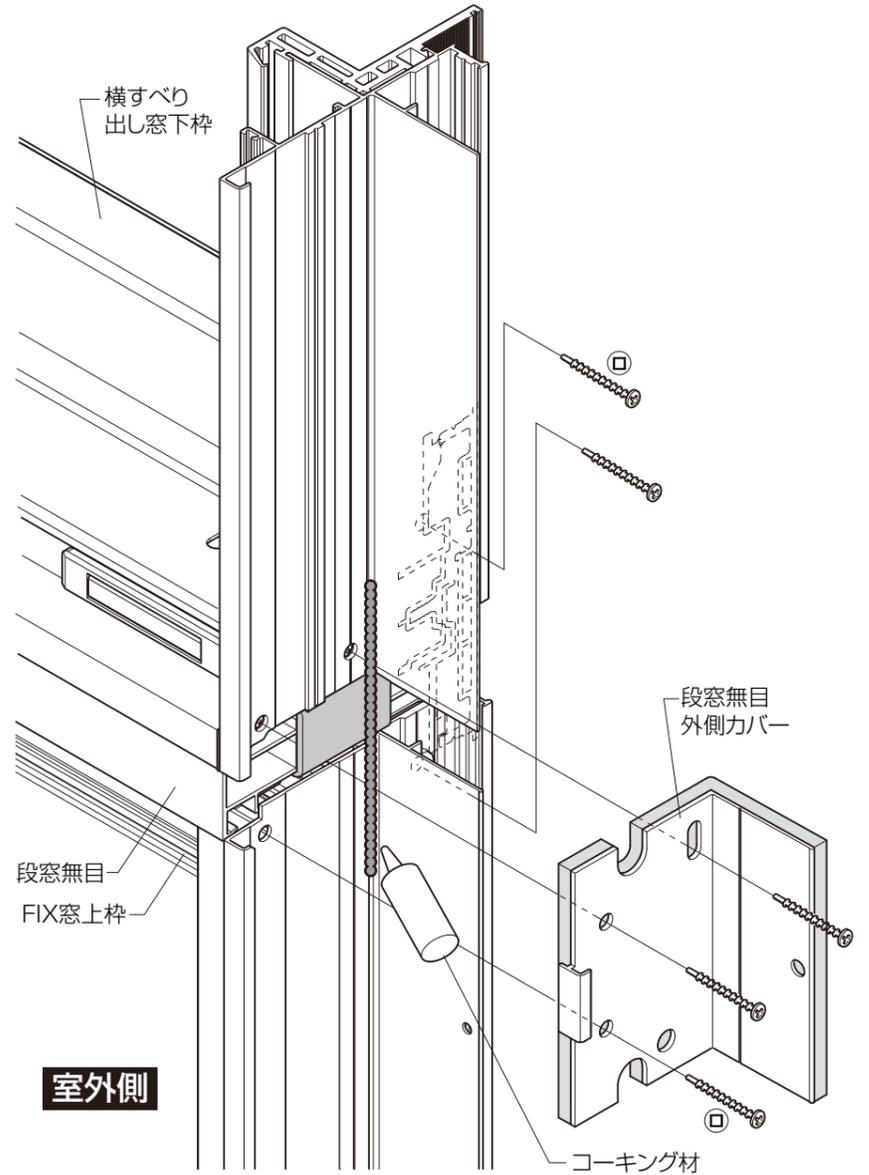


▲注意

- ◎バインドタッピンねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

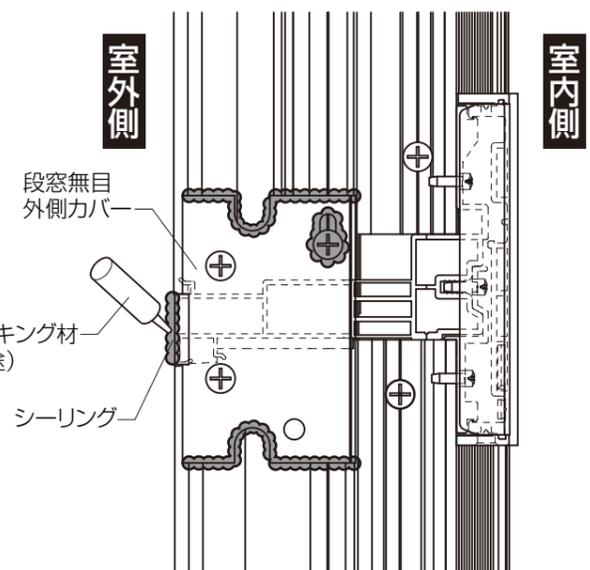
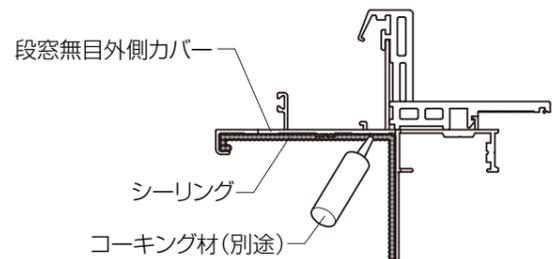
■B部詳細図

【段窓無目外側カバー取付前】



室外側

【段窓無目外側カバー取付後】



■連段窓の場合の組立て順序

<FIX窓+縦すべり出し連窓の場合>

1 連結前の準備

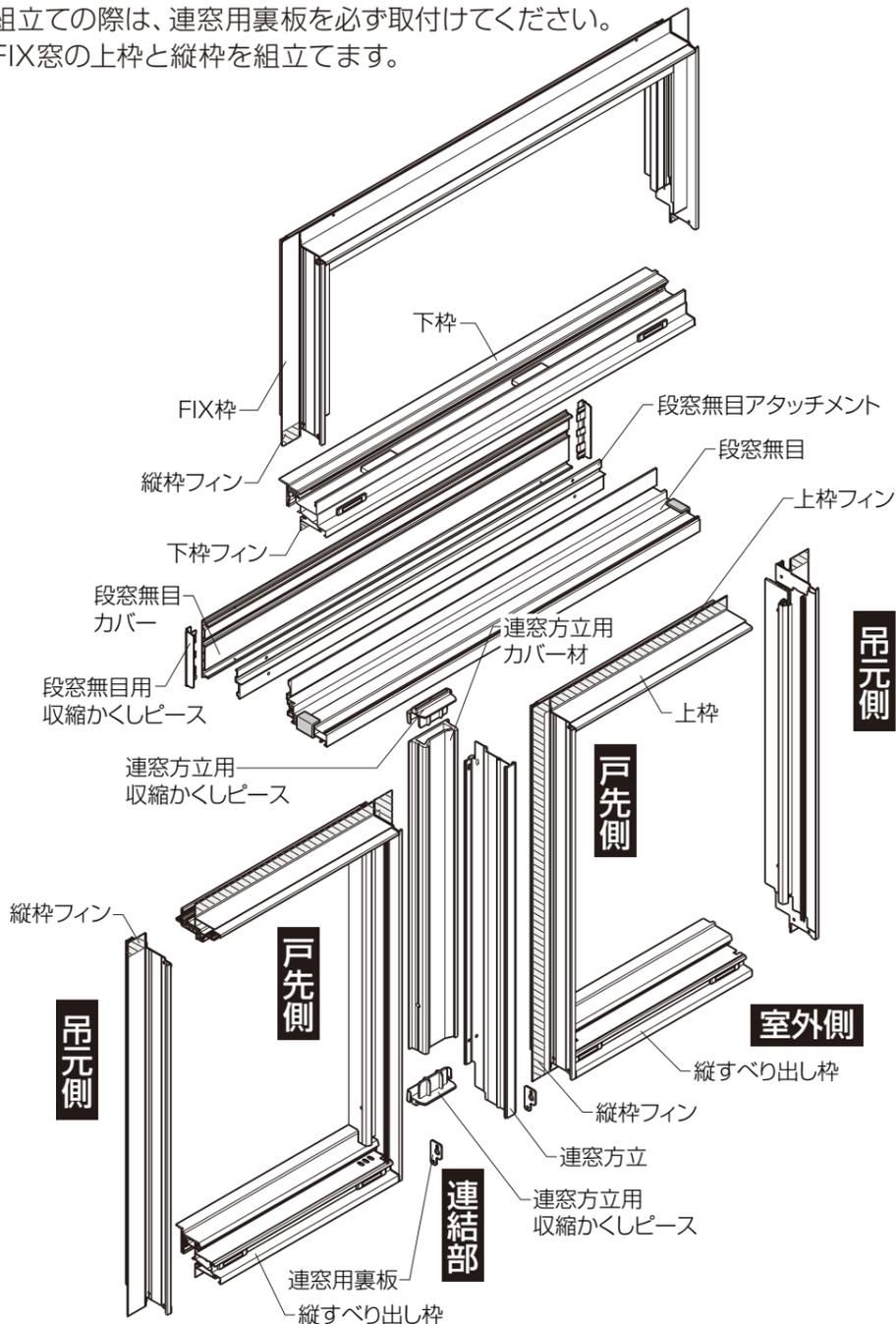
※連窓部の詳細は「連窓方立180°組立て説明書」を参照してください。

①連結部の縦枠・上下枠のフィン(斜線部)をプライヤーなどで折取ります。

②縦すべり出し窓の上下枠と、戸先側枠を組立てます。

※組立ての際は、連窓用裏板を必ず取付けてください。

③FIX窓の上枠と縦枠を組立てます。



2 連窓部の組立て

①「連窓方立180°組立て説明書」に従って、連窓方立と左右の枠を連結します。

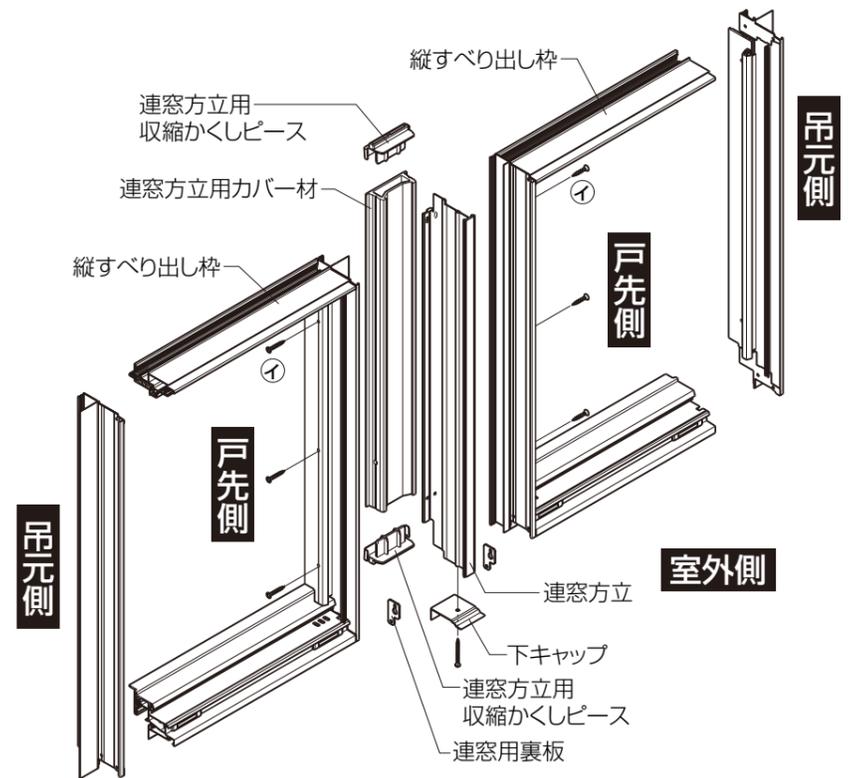
②連窓方立下端に、下キャップを取付けます。

※この場合、上キャップは使用しません。

▲注意

●下キャップ取付け後、周囲にコーキング材(別途)を充てんしてください。(「連窓方立180°組立て説明書」参照)

③吊元側縦枠を取付けます。



3 段窓部の組立て

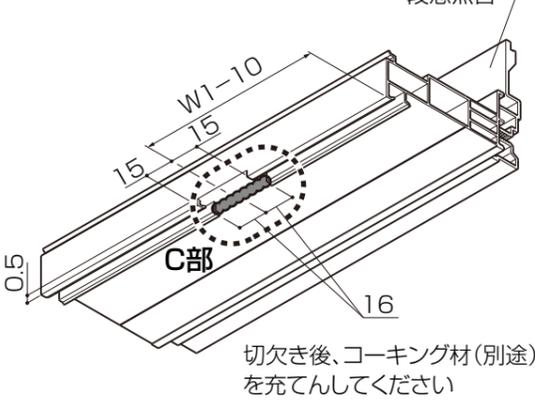
①段窓無目の連窓方立接続部(●部)を切欠き、コーキング材(別途)を充てんします。

※方立が複数の場合は、それぞれの連窓方立の接続部に対して切欠きを行ってください。

■シーリング箇所

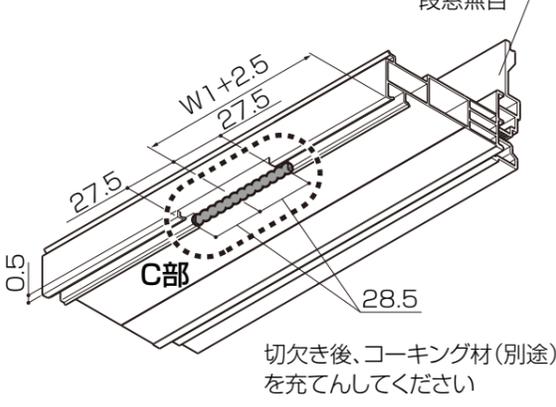
●連窓方立180°(45)

【下部に連窓方立がある場合】



●連窓方立180°(70)

【下部に連窓方立がある場合】



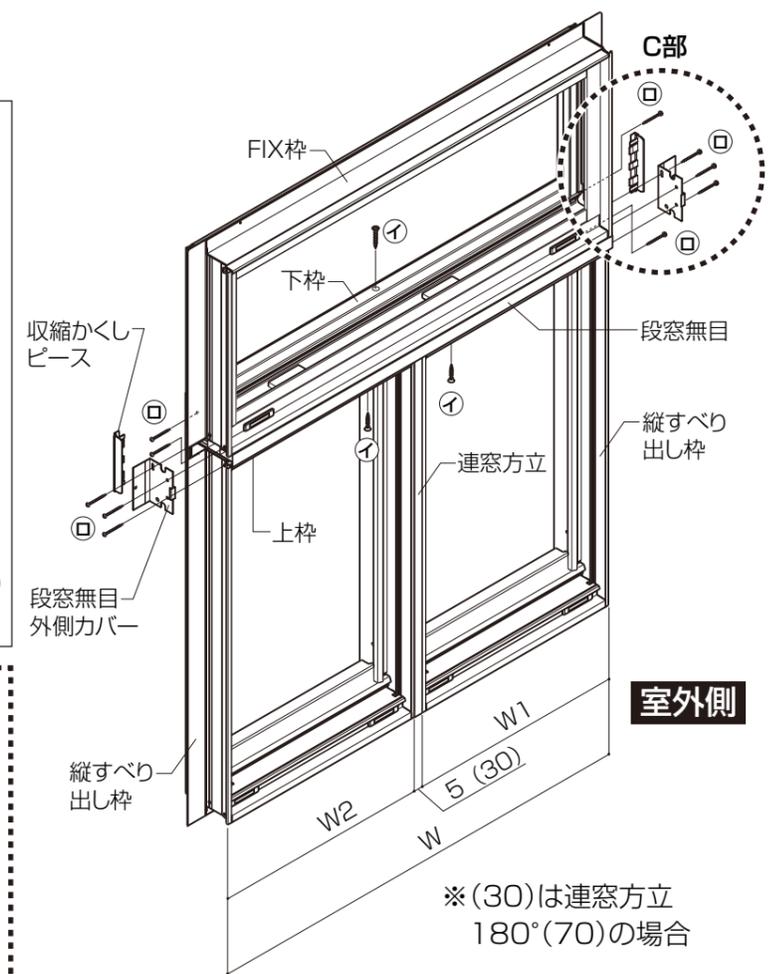
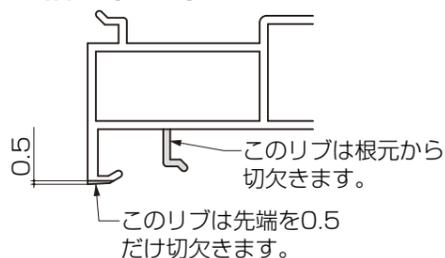
②縦すべり出し窓の上枠に、段窓無目を室外側から差込みます。

③FIX窓の下枠を室外側から段窓無目に差込みます。

④段窓無目を上下枠のねじ穴から固定します。

⑤FIX枠(上枠・縦枠)と縦すべり出し枠を段窓無目外側カバーで固定します。

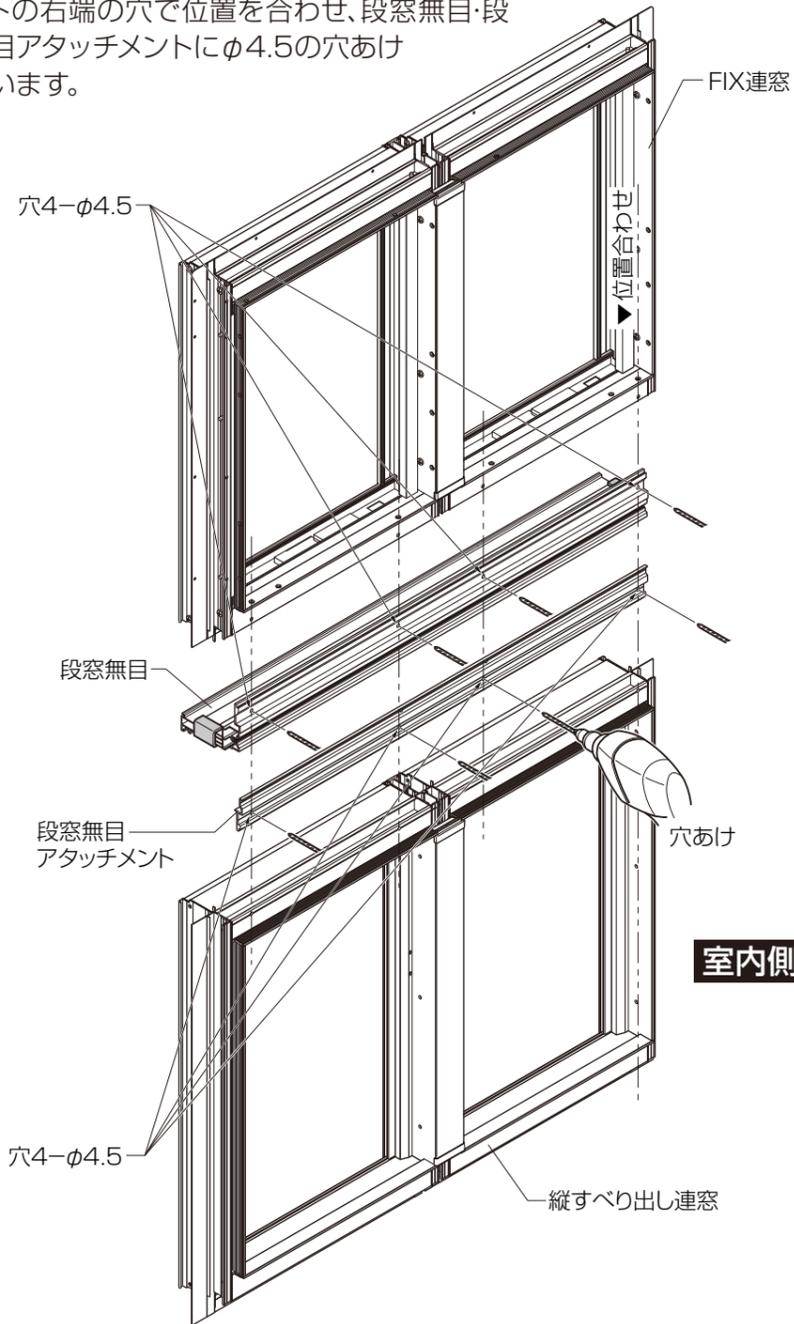
■C部詳細図(断面)



<FIX連窓+縦すべり出し連窓の場合>

1 連結穴の穴あけ

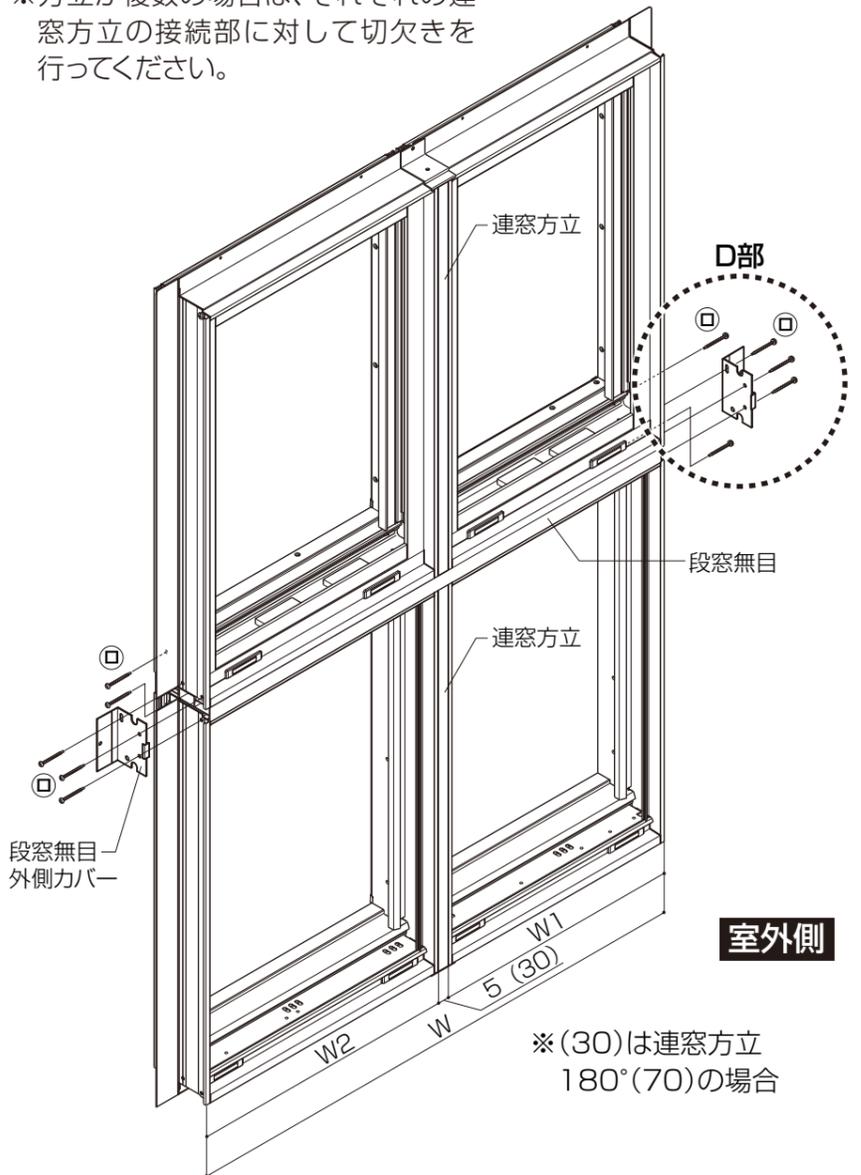
●連窓サッシ(上・下)と段窓無目・段窓無目アタッチメントの右端の穴で位置を合わせ、段窓無目・段窓無目アタッチメントにφ4.5の穴あけを行います。



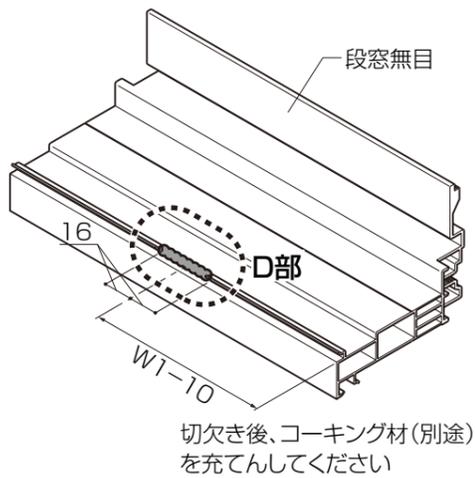
2 枠の組立て・シーリング

※「組立て順序2」に従って、段窓無目と上下の枠を連結します。

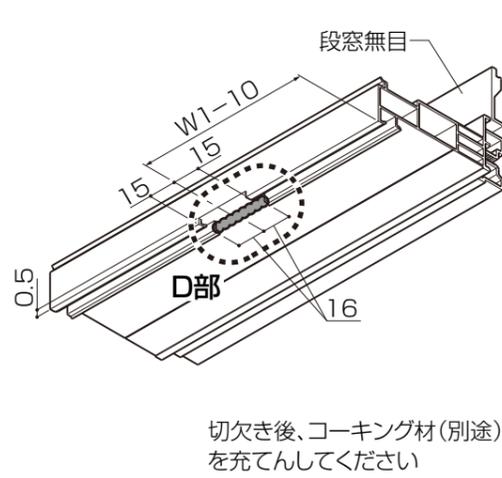
●連窓無目の連窓方立接続部(●部)を切欠き、コーキング材(別途)を充てんします。
※方立が複数の場合は、それぞれの連窓方立の接続部に対して切欠きを行ってください。



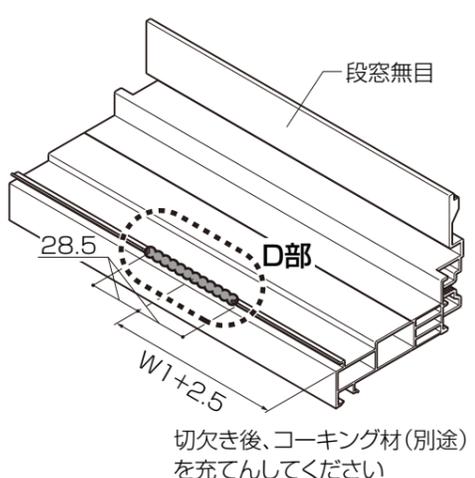
●連窓方立180°(45)
【上部に連窓方立がある場合】



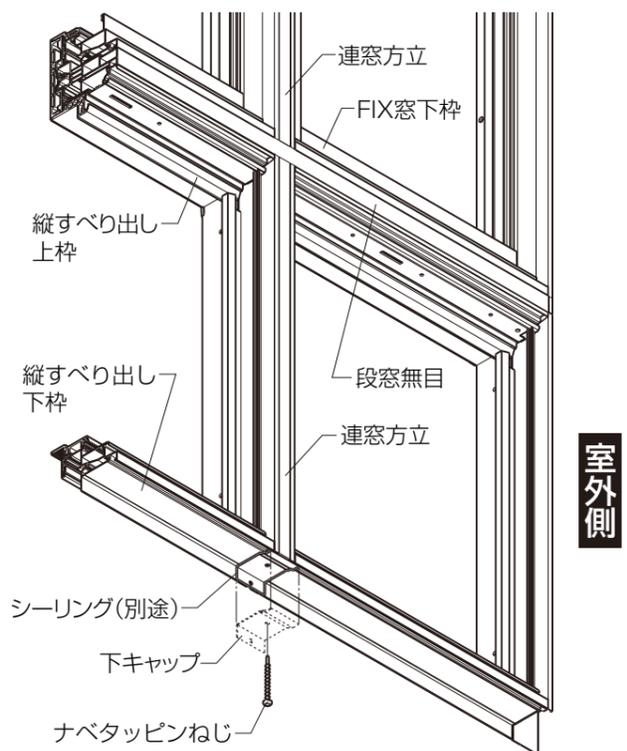
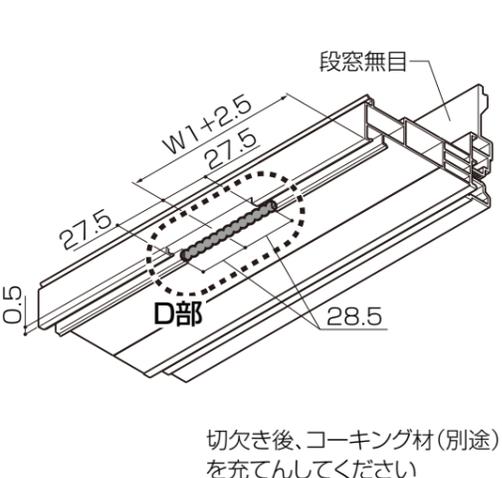
●連窓方立180°(45)
【下部に連窓方立がある場合】



●連窓方立180°(70)
【上部に連窓方立がある場合】



●連窓方立180°(70)
【下部に連窓方立がある場合】



■D部詳細図(断面)

